



新緑の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
今月号は副院長に就任した消化器内科、藤田医師をはじめ、  
4月に入職した医師からのご挨拶を掲載しております。  
今後とも患者さまのご紹介を宜しくお願いいたします。



## 副院長就任のごあいさつ

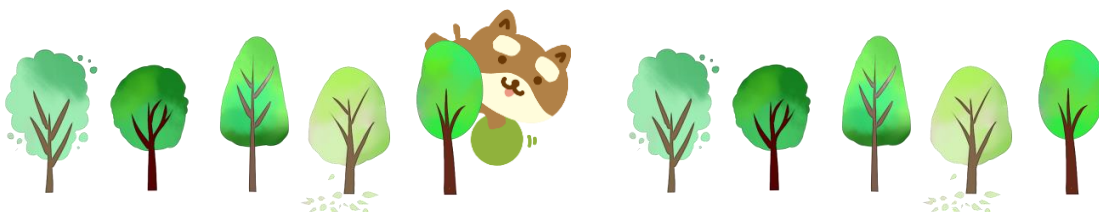


副院長 / 糖尿病内科 部長 内科部長兼務

ふじた あつよ  
藤田 篤代



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび2023年4月より社会医療法人生長会阪南市民病院の副院長に就任いたしました。  
早いもので当院内科に勤務して9年目になります。子育てが一段落し民間病院からの入職  
となり不安だった頃をつい昨日の事のように思い出されます。昨年は退職、産休の影響で  
内科医不足が続いておりましたが、今年常勤内科医1名消化器内科医1名を迎え常勤内科医  
が内科1名循環器内科2名消化器内科3名糖尿病内科3名専攻医2名を含む11名となりやっ  
と近隣地域の先生方のニーズに答えられるだけの人材が充足されたと感じております。  
特に私が就職した当初に比較して感じられることは格段に女性医師が増加しており当初よ  
りもロッカー数は倍増したように感じられます。また子育て中の女医さんが他の急性期病  
院よりも破格に多く、しかも病院の中心的役割を担う医師として各科活躍中です。子育て  
一段落した私にとっての彼女達の活躍は喜びであり私の心のときめきです。彼女達を支援  
しながら病院全体として地域の先生方のご要望に答えられるように邁進していきたいと思  
います。今後ともご指導ご支援のほど宜しくお願いいたします。



## 入職医師からごあいさつ



内科 副部長

きむら りつこ  
木村 りつ子

はじめまして。2023年4月から阪南市民病院・内科にて勤務させていただくことになりました木村りつ子と申します。

これまで和歌山医大第一内科の関連病院として、和歌山ろうさい病院・ひだか病院・紀南病院・公立那賀病院と、地域の中核病院で一般内科および消化器科として内視鏡検査処置などを中心に行ってきました。市の中心部から遠距離のため通院が困難で先進医療が受けられない患者さんもおられました。専門医のいる圏外の病院へ数時間かけて転院搬送したことや、就職前に難病が発症し家族全員で戦った青年もいました。ひとり暮らしで高齢のため退院後のサービスの調整が必要でしたが、その後訪問看護師より元気に過ごしている、と聞いてうれしかったのは最近の話です。

卒後30年を前にしてあらためて患者さんと深くかかわりたく、医局を飛び出してやってきました。少しでも地域医療のお役にたてれば幸いです。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



外科 医長

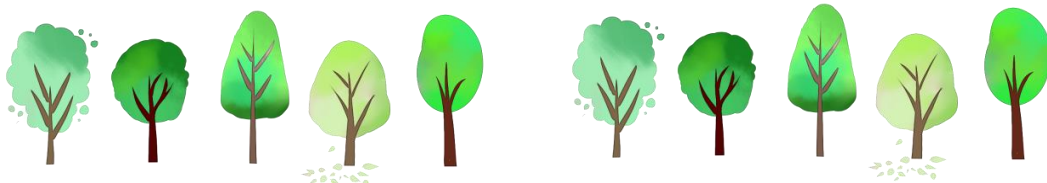
やまぐち しゅんすけ  
山口 俊介



平素より格別の御高配いただき誠にありがとうございます。

2023年4月より阪南市民病院 消化器外科に赴任いたしました山口俊介と申します。これまで和歌山県立医科大学消化器外科に入局して以降、和歌山県下の病院に勤務しておりましたが、今回、はじめて大阪府下での病院で勤務させていただくことになりました。

私は、岸和田市出身であり、同じ泉州地域である阪南市で勤務させていただき、和歌山で働いていた以上に新鮮な気持ちで消化器外科の診療にあたり、近隣の地域医療に貢献し、頑張りたいと思います。阪南市民病院におきましては、これまでと同様に、胃がんや大腸がんなどの消化器がんに対する腹腔鏡手術ならびに抗がん剤化学療法の診療や、胆石症、単径ヘルニアなど良性疾患の腹腔鏡手術を中心に診療することはもちろん、これまで以上に手術技術の向上に努めたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。





形成外科 医長

やまうち まこと  
山内 誠



平素より格別のご高配を頂き誠にありがとうございます。

今年度4月より阪南市民病院の形成外科に勤務している山内誠と申します。

当院の形成外科は昨年まで非常勤医の週1回外来のみでしたが、今後は常勤体制になります。そのため、今までは他病院に紹介せざるを得なかった形成外科領域の疾患も当院での治療が可能となり、少しでも地域の先生方のお力になればと考えております。

専門は、小児先天異常、顔面外傷（鼻骨骨折や頬骨骨折）、熱傷などですが、皮膚良性・悪性腫瘍や眼瞼下垂の治療も勿論行っております。手術以外にも、生まれつきの耳介変形に対する矯正治療、褥瘡や難治性皮膚潰瘍に対する陰圧閉鎖療法なども行っておりますので、このような患者さまがいらっしゃいましたらご相談いただくと幸いです。今後ともご指導のほど、何卒よろしくお願い致します。



整形外科 医長

みやざと まさあき  
宮里 雅晃



初めまして。本年度より阪南市民病院に赴任して参りました整形外科の宮里雅晃と申します。私は近畿大学を卒業後、近大病院にて研修修了し専攻医として赴任しました。幼少期より様々なスポーツ（特にソフトボール、バレーボール、テニス、卓球を主に経験しました。）と関わってきたことで学生の頃には自然と整形外科を目指し、将来は肩・肘のスポーツ外傷を中心に学んでいきたいと考えていくようになりました。本年度は整形外科としての第一歩を踏み出しましたが、これから自らの成長を期待するとともに、少しでも地域の医療に貢献できるよう精進していけるよう身の引き締まる思いでもあります。各先生方、医療従事者の方々にはこれからもお世話になっていくことかと存じます。簡単なお挨拶となりましたが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。





## 発熱外来の診療体制変更について

新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行に伴い、発熱外来は**5月2日**で終了とさせていただきます。**5月8日**以降の発熱患者は総合診療内科の時間内診察となります。

2階立体駐車場はコロナ体制以前の状態に戻し、一般の外来患者様にご使用いただけるようになります。それに伴い、地域外来・検査センターの予約運用も終了となります。

今後も厚生労働省他、関係機関からの通知等をもとに、当院としても院内感染対策をふまえて随時ご案内いたしますので、何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 小児特別診察について

GW連休中、小児急病に対応するため、小児科のみ特別に診察を行います。

特別診察日 : 2023年5月5日（金）

受付時間 : 午前8時～11時30分

受付場所 : 2階 総合受付

お問い合わせ : 072-471-3321（代表）



※地域の先生方におかれましては、これまでの経過がわかるようなものを患者様にお渡しいただければ幸いです。

社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室

(直通) TEL 072-471-3020 FAX 072-471-3977

受付時間 午前8:45～午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります

～ 阪南市民病院 基本方針 ～

全人的な医療を通して人々が自分らしく生きること貢献する病院  
「やさしい」「ていねい」「あったかい」医療を提供する

